

## 巻頭言

### 「躍進する母校」

夏の暑い日が過ぎ、秋空が広がっていますが、會員の皆様はいかがお過ごしでしょうか。学園道路の櫛並木を歩いていると落葉の中小走に校舎に向った懐かしい日々がよみがえってきます。

さて、ここに第8号の会報を皆様にお届けします。今回も、発展しつつある母校の様子を盛りだくさんの内容で紹介しています。

なかでも、今回のニュースは管理棟の完成です。プレハブ造りの校舎からスタートした我が母校も今では、極めて充実した施設が整備されています。校舎は本館・別館々新館となっております。今回これに加えて管理棟が完成しました。本館・別館・新館ということかにも建て増しをして大きくなってきたということを示しているようです。管理棟は、今までの校舎とは一風変わった外観で、どっしりとした雰囲気を見せています。また中庭には藤棚などが作られて、さらに緑豊かな環境になっています。

JRの山陽本線の車窓からは赤レンガの食堂棟をはじめ、いくつかの建物が見えますが、緑につつまれた母校のすべてを見ることが出来ないのが残念です。卒業してしまふと、母校を訪れる機会も少なくなってしまうので、白陵会でも、躍進しつつある母校の姿を見ていただける機会を作りたいと考えています。

このほか、過日皆様方に御協力をお願いしましたアンケート調査を科学的(?)に分析した結果を掲載しております。白陵会といたしまして、その内容を踏まえ活動していきたいと考えていますので御期待下さい。



会長 黒川芳一

# ごあいさつ

山裾にくつきりと浮かぶ三木学園、白陵高校の校舎にも、すっかり秋がやってきました。

緑の木々も色づき初め、微風が冷たく感じられるようになりましたが、御学兄におかれましては、益々御健勝のこととお慶び申し上げます。

昭和三十八年、学校法人三木学園白陵高等学校・中学校が設立され、第一回入学式を仮校舎プレハブ三棟にて挙行されてから、四半世紀が過ぎ去り、今、校門をくぐり、しつくりと落着いた榎並木の学園道路を歩くと右手に体育館、武道館と並び、左前方に白陵会館が見え、その前に亡き三木吾吾学園長のブロンズ像が私達をみつめ、中央正面には新築された管理棟がそびえ立つ姿は、他校の伝統ある校舎に負けない美景であります。

又、進学校としては全国屈指の地位を確立し、我々白陵会の仲間も、父親母親の立場として子供達を入学させている声をあちらこちらで耳にするにつけ、白陵の歴史を感じずにはいられません。

少数定員制による一貫した英才教育は、国際社会を迎え、世界のリーダーシップをとらなければいけない日本として、切に望んでいる国際人を生み育

てることでしょうか。

このように師弟一体となって勉学に励む白陵に少しでも役立つことができればと白陵会も各種事業に取りくんできます。

昨年は、吉田達哉委員長(10回生)を中心にアンケート委員会が、数回にわたり会合を開き、「母校と共に白陵会アンケート」を企画し、会員の皆様にお願いたしましたところ多数の返信ご意見がありましたこと、紙面をおかりして御報告を申し上げます。

一通一通目を通させていただき、白陵に対して深い関心と想いがあることを知り、今後の白陵会にとって大きな拠り所になりました。

最後に、本年度六月の役員会では、来年「平成二年」第三回白陵会総会を盛大にとり行うことに決定し総会準備委員会を結成すると共に、総会準備委員長に沼田副会長(三回生)が推挙されました。

総会の式次第、懇親会、アトラクション等、前回より素晴らしい総会になる様計画してゆきますので、恩師を囲み楽しい一日を旧友と語り合っていたことをお願い申し上げます、ご挨拶いたします。



理事長 三木一正

# 白陵飛翔元年に思う 「学園は楽園？」

今年の春の話題の一つに竹藪騒動があった。二億数千万円の現金が放置されていたというから金余り国日本を象徴したような話だが、金足らずのわが白陵竹藪でも一寸した珍事がおこった。例年なら穫れた竹を今は亡き学園長宅へ届けたり、日頃お世話になっている人々のところへ持参し、あとは何人かの先生方がおぼれに預るのが関の山なのだが、今年ではおぼれに預るの

れども掘れどもニヨキニヨキと首をもたげる筈にウンザリ、ついには誰もふりむかなくなる程の豊作と相成った。シーズン前に雨が多かつたのもその原因の一つらしいが、それよりも本部管理棟の造成工事で竹藪の四分の一が切りとられたことによるらしい。根つこの先を切りとられた大本の根がグングンと繁殖し、過剰生産(?)にな

ったというのが素人筋の観測である。しかもそれが学校敷地内の話というから何とものどかな話だがこのどかさば竹藪だけのことではない。ここをわが家と心得えて休日になると姿を現わし学園道路を横切つて白陵会館へ入っていく稚子のつがいが行進

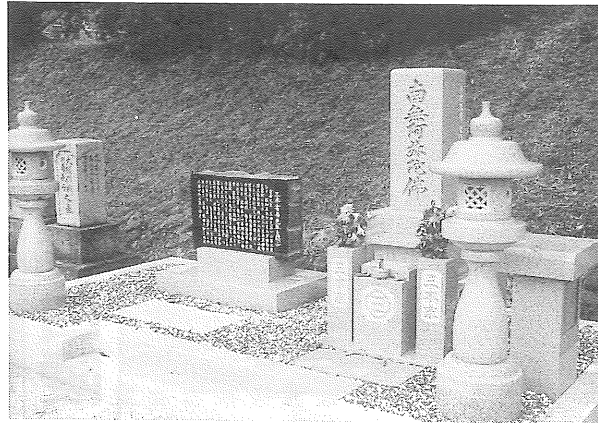
(?)、春先から夏にかけて毎日欠かさず鳴いてくれる鶯の美声等々、白陵キャンパスは文字通り楽園そのものなのだ。加えて校内緑地の公園化計画も着々進行中で、吾妻屋が木立ちの中に姿をあらわし藤棚が組上り、それぞれにベンチが置かれその間に

水飲み場がつくられて自然と物理的構造物の調和が落ついた雰囲気を感じさせている。整備されつつあるのは自然環境だけでなく、白陵寮前の第二運動場予定地の一部にテニスコートが二面、運動場からの移転でテニスはもとより寮生たちも利用、片や運動場も広く使えるようになったと共に大喜びだ。

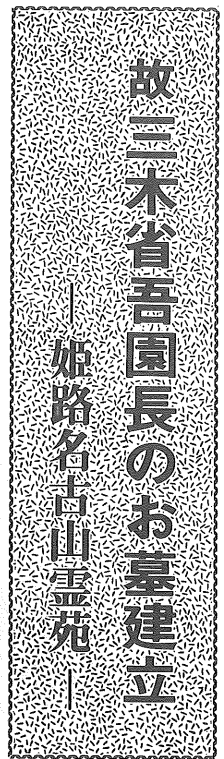
そうこうしているうちに早いもので今年のは亡き学園長の七回忌を迎えた。三木家ではこれを機に姫路名古山霊苑にお墓を建立、表面には南無阿弥陀佛、裏面には故学園長の経歴が刻まれている。機会があればぜひ一度お詣りしてあげてほしい。墓石の下で「よく来てくれた」と喜んでいただけるところだろう。学校では今春の卒業生で学園長の教えを乞うたものは皆無となった。

バイタリティーあふれる教育者としての学園創設者の高邁な精神とその人と成り何とかが在校生や後輩たちに伝えたいものと、昭和五十八年逝去の節に発行した追悼文などを合冊復刻して在校生に配付したいと思

っている。昭和が終り平成元年、学校でも今年を文字通り白陵飛翔元年として、明るい躍動感あふれる節度ある進学校、規律ある自由な学園をめざして大いに飛躍したいと希っている。ご挨拶にかえて近況をお知らせし併せて諸兄のご活躍を心からお祈りする次第です。



昭和五十八年七月十五日に心筋梗塞による急性心不全で急死された三木省吾園長のお墓が七回忌にあたる今年、姫路の名古山霊苑に建立され、七月九日に納骨されました。



故三木省吾園長のお墓建立

姫路名古山霊苑

が、そのわかれ目に特殊えい域墓地があります。その特殊えい域墓地のすぐ西側にはお墓が坂に沿って階段状に建てられています。その一番下の列中央の大きな桜の木の下に三木園長のお墓があります(下図参照)。

お墓は白みかげ石で、一對の燈籠と三木園長の略歴が刻まれた石板が建てられています。石板に刻まれた略歴は、浜田教頭が書かれ、白陵本校の三木園長の胸像に刻まれたものと同じものです。

七月十三日には同窓会の役員が、また命日の七月十五日には教職員と青友会がそれぞれお参りしましたが、同窓会の会員のみなさんも機会をみつけてお参りしてください。

三木園長、安らかに眠り下さい。

合掌

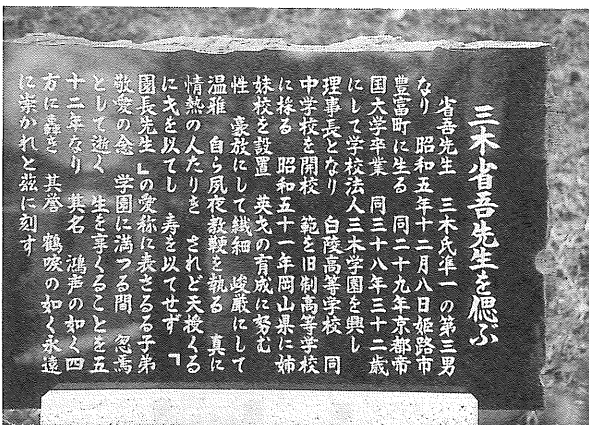
故園長の経歴

昭和5年12月8日

姫路市豊富町豊富で誕生

昭和25年3月31日

旧制姫路高等学校卒業



三木省吾先生を偲ぶ

省吾先生 三木氏第一の第三男なり 昭和五年十二月八日姫路市豊富町に生る 同二十九年京都帝國大学卒業 同三十八年三十二歳にして学校法人白陵高等學校 同理事長となり 白陵高等學校 同中学校を閉校 範を旧制高等學校に接する 昭和五十一年岡山県に姉妹校を設置 英光の育成に努む性 豪放にして繊細 峻厳にして温雅 自ら夙夜教鞭を執る 真に情熱の人たりき されど天授くるに式を以てし 寿を以てせず 園長先生の愛称に表さるる子弟敬愛の念 学園に満つる間 忽焉として逝く 生を享くることを五十二年なり 其名 鶴声の如く水邊に響き 其聲 鶴唳の如く永遠に響かれと茲に刻す

昭和29年3月31日

京都大学法学部卒業

昭和38年3月30日

学校法人三木学園を設立、理事長に就任

昭和43年4月1日

白陵高等学校・同中学校校長に就任

昭和44年4月1日

財団法人兵庫県私立学總連合会理事に就任

(昭和49年3月31日まで)

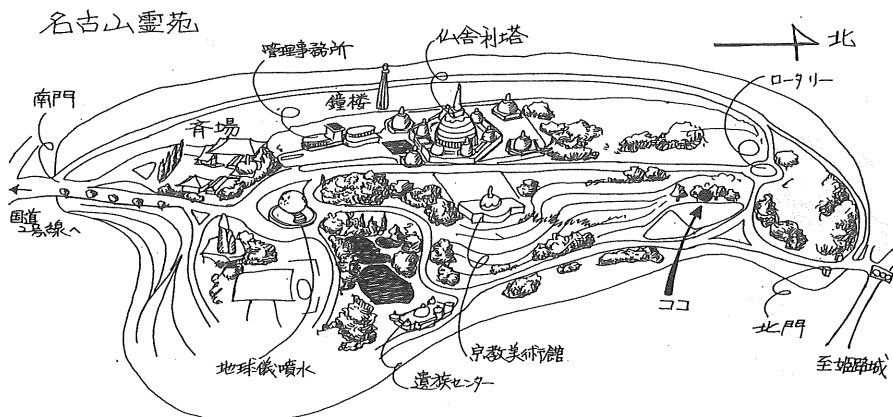
昭和51年4月1日

岡山白陵高等学校・同中学校校長を兼任

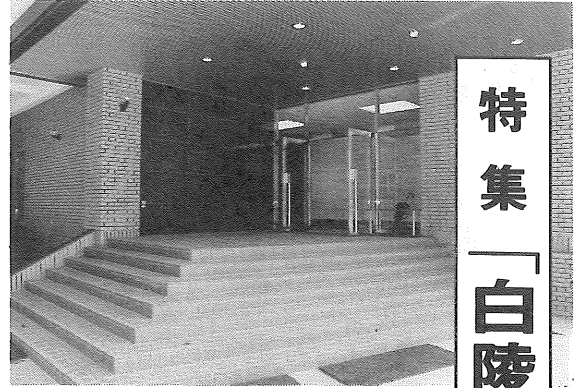
昭和58年7月15日

心筋梗塞による急性心不全により死去、享年五十二歳。

同日、長年の教育功勞により「木杯一組 台付」を下賜さる。



特集  
「白陵本部管理棟」

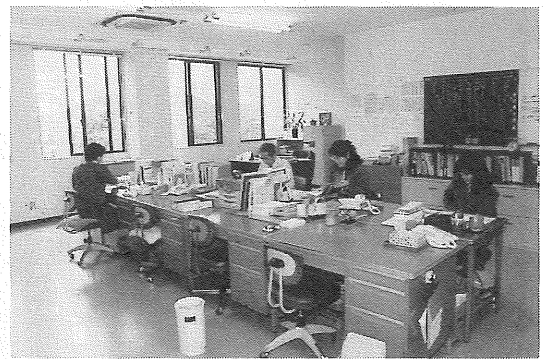


緑がはえるケヤキ並木の学園道路を進み武道場を過ぎたあたり右手方向を見ると、ページュのレンガ壁とグリーン銅屋根との調和が美しい建物が見えてきます。この真新しい建物がさる平成元年一月八日に完成した白陵本部管理棟です。重厚な造りの中にも一連の校舎群とに違和感が生じないよう十分配慮されており、又、まわりの自然環境にもうまろく溶けこんでいます。第一校舎(本館)前を西へ行くと雨天時にもぬれることなく出入りできる玄関前ピロティに着きます。右手玄関が管理棟入口、左手玄関が校舎への昇降口となっています。玄関ホールは大勢のお客様に対応できるようゆつたりとしたスペースがとられており、その一

番奥に事務室受付があります。事務室の広さも旧事務室の倍以上になっておりすっきりとした部屋と なっています。又、まわりに印刷室、書庫、事務OA室、会議室、応接室、理事長室と扉一枚でつながっており機能的にも充実しています。理事長室は非常にゆつたりとした落ち着いた雰囲気の中で、十数人がすわられる会議スペースもとってあります。受付横の階段を上がると二階ロビーへ出ます。職員室前のこのロビーは職員・生徒の往来にもぎやかで、大きな白い壁面には同窓会寄贈の絵がかけられ華やかさを演出しています。又、



本部管理棟

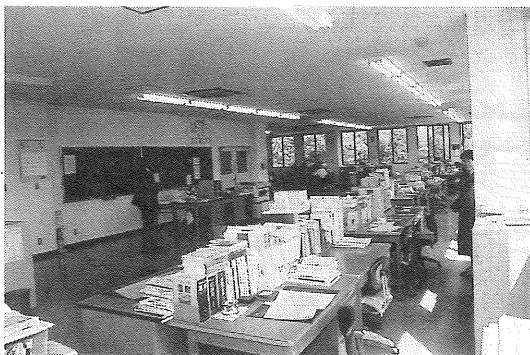


事務局

対面には大きなガラス張りの陳列棚があり、美術工芸品や元首相福田赴夫氏直筆の書が二枚展示されています。そして大学合格者(登龍門)はここから教室へ向かう廊下の壁にぎっしりと貼ってあります。職員室は三方を大きな窓に囲まれたコの字型で室内は広々として明るく開放感があります。窓からの見晴しもすばらしく、教鞭でつかれた神経を癒すのにも役立っています。職員室用コピー機、放送器具も設置され機能的にも充実しています。教材室には下の事務所玄関とを結んだリフトがあり、テキストや模試等の運搬に大いに活躍しています。OA室には現在六台のパソコンが成績処理等にフル活用されています。このOA室の北隣に進路指導室があります。従来の資料室

としての機能だけでなく生徒に対するカウンセリング用にソファアールがあり生徒の悩みの相談室ともなっています。地階に降りると保健室と多目的ホールがあります。保健室にはベッドが三台ソファアールも置かれ、広々とした室内は以前より外観的にも機能的にもすばらしくなっています。特徴として、生徒通学路に面しているため、怪我人の外からの出入りもしやすく緊急時の救急車やレントゲン車なども横付けできるよう工夫されています。多目的ホールは百名余りの会議に使用できるスペースがあり、学年集会、研修、模試等、多方面に利用されています。

以上、白陵本部管理棟の主な施設を紹介しましたが、現在なお管理棟周辺を庭園のごとく整備すべく、吾妻屋、



職員室

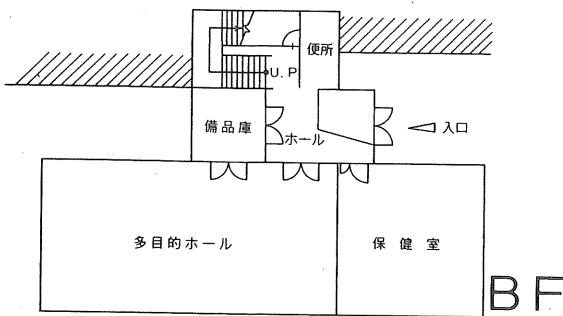


同窓会寄贈の絵画

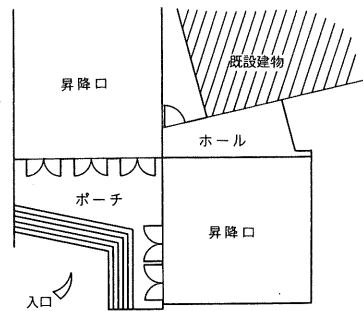
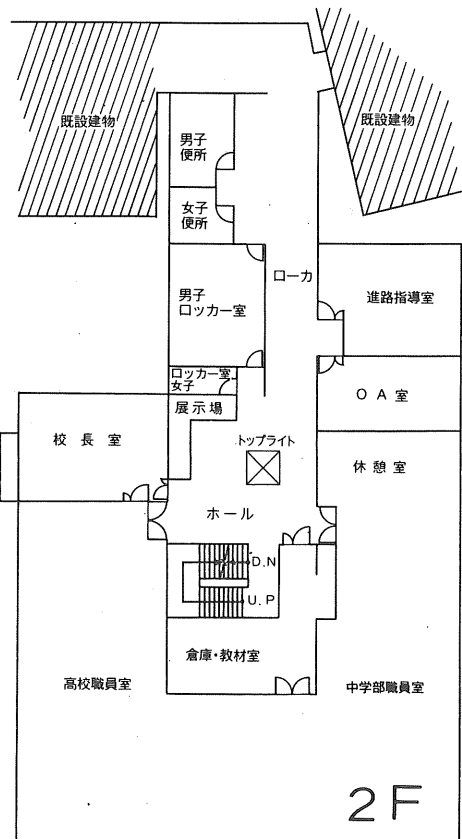


O A 室

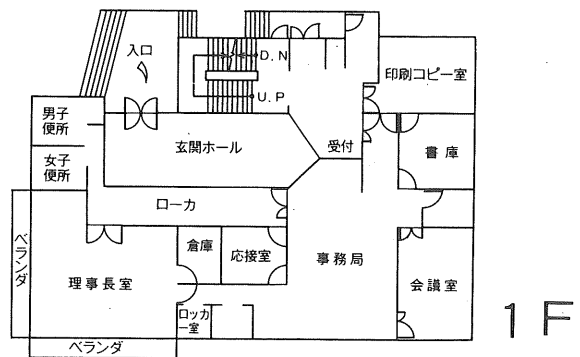
藤棚等の建築が進行中であります。この記事が出る頃には完成していると思えますのでぜひ一度母校を訪門されてはいかがでしょうか。



展示コーナー



- 白陵本部管理棟概要
- 名称 白陵本部管理棟
  - 竣工年月日 平成元年一月八日
  - 建物床面積 地階 二五六、〇〇㎡  
一階 五五八、八〇㎡  
二階 八〇七、六五㎡



# 白陵今昔物語 (3) 平成元年五月二十二日

## 中安久隆先生インタビュ

——まず、始めに、昔の生徒と今の生徒の違いからお聞かせ下さい。

中安 いろんな意味で、昔の学生の方がスケールが大きかったですね。

人間性だけを見れば、昔の方がなつかしい気がします。

——勉強を抜きにして(笑い)という事でしょうか？ 昔の方が、やんちゃ坊

主とか、個性豊かな人間が多いということですか？

中安 うーん、当時は、こいつらだじようぶかなって感があったように思いま

すが、現在は、結構みんな一人前になって、それぞれがんばっているようだ

し。でも、愛校心は昔から変わらず、ずっと今も受け継がれている気がし

ます。

——昔の生徒と今の生徒をあえて区切るとすれば、どこから変わってきたと思わ

れますか？

中安 昭和五十四年の共通一次を境にして違ってきた気がします。

——生徒の質が変わってきたということでしょうか。

中安 今は、あまりレベルの低い生徒がなくなりましたね。特に女子は非常に

優秀な子が入ってきます。昔は文科系に傾よっていたが、今は大部分が理科

系志望になっています。

——共通一次と、一期・二期がある時代とでは、勉強の方法や生徒の考え方など

が変わってきたということでしょうか。

中安 共通一次になってからは、それに主眼を置いてレベルアップを計ってきた

した。その面では、進学校のうちの場合、有利ですね。ところが、これから

は二次のウエイトが高くなり、論文入試などとなると、見直さなくてはなら

ない面がたくさんあります。

——二回目のふしめは、二次という事ですね。

中安 昭和五十七〜八年度位だから、ここ四〜五年位かな。二次の方に主眼を置く

様になりました。...

——以上は、学校レベルの変化の様に思うのですが、先生の目から見られて、生徒の変化はどの様に感じられますか。

中安 実際の感覚では、はっきりしたふしめというのはないが、10期生位までは

個性豊かな感じで、その後の18期生あたりまでが今の白陵の土台を築きあげ

たという事でしょうか。昔は、姫路周辺からくる生徒が圧倒的に多く、今で

は阪神地区など、東方面の生徒が多くなっています。

理想的な姿というのは、昔の生徒のバイタリティー、プラス、今の生徒の

けじめをつけて受験勉強に取り組む姿があれば最高だね。

——話は変わりますが、現在の進路指導については、どの様にされていますか？

中安 私学は基本的にはどこを受けてもいいが、国公立はかなりきびしく進路指導

します。チャレンジ精神を第一に、東大・京大をはじめチャレンジ校と実力

相応校又は安全校という風に、国公立に重きをおいています。これからは、

生徒の急減期という事もあり、ますます進学校を旗上げて、がんばらない

といけないわけです。

——現状はどうですか。

中安 成績については、淳心・六甲よりも上だが、こと学校の「人気」に関して

は多少落ちる気がします。教師自身も、受験指導に関して非常に敏感になり、

毎年、安閑としていられないということまで必死にやっています。これからは、

君達の子供も、中学・高校に入る時期にきていると思うが「人気」という面

で、確かに考えなくてはならないだろうね。

——同窓会のアンケートで、白陵に自分の子供を入れたい：22%、入れたくない

：20%、という結果がでたのですが、それについてどう思われますか？

中安 そういう結果がでたという事は、やはり問題だね。受験勉強と人間性とい

う教育について何か問題があるのかも知れない。

——では出来の悪い人間(？)みんなバク笑)をたたき上げてきた過去と、そう

でない今の校風を別々に考えてみれば、今後、アンケートの結果は変わって

くるでしょうか？

中安 うーん、それをとって見ても、数字的にはあまり変わらない気がする。何がどうであるからという、はつきりした理由があるわけではないが、やはりイメージの問題かな？

—— 人気という面で淳心と比べた場合、地理的にマイナスの要因もあるのではないですか？

中安 それもあるだろうが、やはりイメージかな。実際、中に入れば皆んな楽しくやつてるのに…明るくパツと…ね。(笑い)

—— 現在、姫路周辺では、公立高校へ行かすよう進路指導している中学が多い様ですが…。

中安 中学に関しては、子供の方から私立に行くというものはない。やはり親の影響が大であるように思う。この地区では、まだまだ姫路西・加古川東の人氣が強いからね。

—— 結論としては、姫路方面ではまだまだ親の持っている考え方が、公立志向に傾いているのが現状で、阪神地区にかなり私立に対する認識が強くなっているという事ですね。

話しは変わりますが、園長がおられた頃と今とでは、何か違いはありますか。

中安 そうですね、園長がおられた頃は、確かに学園全体が「おんぶにだっこ」という形でしたが、亡くなられてはじめて教師間に危機感というのか、何かをしなくてはという意識改革があったように思いますね。それが、今日の白陵を支えているのかも知れない…。

—— という事は、職員室の雰囲気なども変わったとか…？

中安 いえ、そういうのではなく、変化は職員自身の内にあり、生徒自身にもそれは感じないのですが、ある意味で園長の考えが非常に浸透していますので、逆に昔をなつかしむ声もあります。ふり返ってみて、いい思い出を感じておられる先生方は確かに多いです。ただ以前は「園長の学校」だったのが、現在は「我々の学校」に変わったという、いい意味での職員の意識改革ですね。

…みんな、やる気満々です。

—— 中安先生自身の生徒に関する接し方はどうでしょうか？

中安 10期位までですか、自分も若かったし、本音で生徒と接していましたね。

—— 現在はどうかと、ある程度、構えて接しているように感じますね。生徒のシラケムードというのかな、何か違うね昔と、…ある時期から園長もそれを感じておられたのと違うかな。

—— それと関連して、昔は体罰というようなものがあつたのですが、今はどうでしょうか？

中安 今では、昔の様に手をかけて指導するということはなくなっています。これも時代の流れなのかも知れないね。

—— 最後にになりましたが、卒業生に一言お願いできますか。

中安 どんな職業であつてもいいから、もうそろそろ白陵卒業生の中で名前が売れ、世の中に認められる人間が出てきてもいい時期にきているのではないかな…という事ですね。

—— 本日に今日は、いろいろとお話しを聞かせて頂き、ありがとうございます。

## 中安先生プロフィール



昭和18年8月7日 神戸市生れ

現住所 加古川市上荘町都台一丁目一五の六

京都府立大 農学部植物病学専攻

昭和42年4月より本校において教鞭をとる

現在、進路指導部長兼 高2学年主任

# アンケート集計結果報告

## 各期毎の返送数 並びに回収率

期生	返送数	会員数	回収率
1	20	121	17%
2	26	153	17%
3	45	213	21%
4	19	116	16%
5	30	167	18%
6	22	154	14%
7	30	153	20%
8	29	113	26%
9	27	164	16%
10	48	173	28%
11	34	151	23%
12	34	178	19%
13	31	163	19%
14	30	169	18%
15	40	170	24%
16	29	148	20%
17	27	164	16%
18	32	161	20%
19	15	135	11%
20	21	167	13%
21	28	157	18%
22	42	168	25%
23	41	174	24%
不明	10		
合計全体	710	3632	20%

### ■ ご協力ありがとうございました ■

昨年末に白陵同窓生全会員に対し、アンケートをお願い致し多数の回答をお寄せいただきありがとうございました。そのアンケートの集計が出来上がりましたので、本号の紙面を借りて、ここにご報告致します。尚、無回答の項目等に関しましては、集計の便宜上、削除させて頂きました。何卒ご了承下さいませようお願い致します。

- 【白陵会】※( )内は回答数を示す
- (1)白陵高校の全卒業生で構成されている同窓会の名称が「白陵会」であることを知っていますか。
- ①知っている(五七二) 八二%  
②知らない(一二二) 十八%
- (2)現在、会の運営資金が卒業時に徴収されている終身会費のみで、まかなわれていることを知っていますか。
- ①知っている(一九八) 二九%  
②知らない(一三二) 十八%
- (3)現在、何人位の白陵出身者と親交がありますか。
- |       | 先輩  | 同期  | 後輩  |
|-------|-----|-----|-----|
| ①〇人   | 五八% | 十三% | 六〇% |
| ②一〜三人 | 三三% | 四三% | 三〇% |
| ③四〜十人 | 七%  | 二九% | 八%  |
| ④十人以上 | 二%  | 十五% | 二%  |
- (4)同期の同窓会がありますか。
- ①ある(一〇七) 十六%  
②ほとんどない(二〇二) 二九%  
③ない(二七五) 四〇%  
④少数グループならある(二〇二) 十五%
- 「ほとんどない・ない」の場合  
あればよいと思っていますか。

- ①思っている(三三三) 八四%  
②思っていない(六二) 十六%
- (5)同期以外(地域・職場・クラブ等)の白陵出身者の親睦会を行なっていますか。
- ①ある(三九) 六%  
②ない(六一九) 九四%
- ※この項は、主に現在の卒業生のつながり等の調査になるのですが、全体的に見て、思っていたより卒業後の、縦・横のつながりが少ないという結果が出ております。特に、設問(4)の同期の同窓会の所で、同窓会があればよいと思っていない人が、六二名(十六%)という数字は、これから同窓会活動にたずさわっている私達にとっては、少し残念です。(特にこれが、返送された中からの数字であるが為に)最後に(5)の白陵出身者の親睦会の記入分を記載しておきます。
- 姫路市役所白陵会
  - 姫路JC白陵会
  - 西脇市陵友会 ●柔道部OB会
  - ブラスバンド部(七期〜十期)
  - 野球部(十一期・十二期)
- 【会報】
- (1)毎年発行している会報を読んだ事がありますか。
- ①読んでいる(四三四) 六四%  
②あまり読んでいない(二七五) 三三%  
③読んでいない(六八) 十%
- (2)今回発行の会報(第七号)で興味を持って読んだ項目があれば、選んで下さい。(記入の多い順に番号をつけております)
- ①「通学路は今」のルポ 二九四  
②大学合格発表 二四三  
③白陵今昔物語 二二四  
④白陵軍団集合 一一二  
⑤白陵会ニュース 一〇三  
⑥会長・理事長挨拶 七四  
⑦白陵会収支計算報告 十九  
⑧今後の紙面に載せて欲しい項目があれば、選んで下さい。
- (3)今後の紙面に載せて欲しい項目があれば、選んで下さい。
- ①教師インタビュー 二六九  
②クラブ活動状況 一四一  
③学校周辺状況 一三一  
④会員投稿 一一八  
⑤新旧卒業生対談 一一六  
⑥学校インタビュー 九一  
⑦白陵軍団集合 八八  
⑧学校諸施設 七〇  
⑨入試要項・教員募集等 四一  
⑩学校生徒行事(文化・体育祭) 四〇  
⑪その他 二四
- 卒業生の全国的な活動状況
  - 在校生の投稿
  - 現在の白陵生の様子
  - 白陵の教育方針について
  - 会員の近況報告
  - 在校生との懇談会
  - 寮についてのニュース
  - 園長先生の逸話
  - 現在の校則について
  - 卒業生の活躍ぶり
- ※他、言葉の違いで内容の同じ項目に関しては、省かせて頂



④発行回数について何回位がよいと思  
いますか。  
①年一回(二五九) 四一%  
②年二回(三五三) 五八%  
③その他(二二) 一% 年四回

※会報についてのアンケート結果は今  
後の紙面づくりの上で収穫があつた  
ように思われます。ここ数年の間に  
広報委員会のスタッフも、非常に充  
実してきており、たえず会員の皆様  
に興味深く読んで頂けるよう工夫を  
凝らしているのが現状です。これか  
らも、ご意見ご希望等、多数お待ち  
致しております。

【総会】  
(1)前回(昭和六〇年十一月)の総会に  
出席しましたか。  
①出席(五五) 八%  
②欠席(三九二) 五九%  
③あつた事も知らなかった  
(二二二) 三三%

(2)次回の総会には出席しようと思つて  
いますか。  
①思っている(一四七) 二二%  
②思っていない(二二八) 十九%  
③わからない(三九四) 五九%

(3)前回は学校の体育館で行ないまし  
たが、次回の場所について。  
①学校がよい(四五五) 七九%  
②他の交通の便のよい所  
(一一八) 二二%

(4)何月ごろがよいと思えますか。  
①正月ごろ(一三四) 二四%

②お盆ごろ(二〇九) 三八%  
③創立記念日(十一月九日)前後  
(一九五) 三五%

(5)前回のようなアトラクション(漫才  
等)を希望しますか。  
①する(三〇〇) 六六%  
②しない(一五八) 三四%  
●他に希望する物があればご記入下  
さい。

●講演会 ●ゲーム  
●現役生との交流  
●学校・同窓会のビデオ  
●各期毎に校歌・寮歌  
※前回の総会があつた事も知らなかつ  
たという人が、二二一名、全体の三  
三%という数字を見て、次回の総会  
準備時のよい注意点になつたと思わ  
れます。場所については、やはり総  
会の機会ぐらいいいか、学校を訪れる  
ことがないためか、学校がよいとい  
う人が、圧倒的に多かつたようです。

前回のアトラクションは、前回出席  
者に関しては、非常に評判がよかつ  
たのか、前回出席の人は、ほとんど  
全員が、次回も希望するという結果  
でした。次回の総会も、一年後とい  
う所に迫つてまいりました。このア  
ンケートの回答を十分に生かして、  
できるだけ多くの人の参加と、全員  
が、思い出深い一日を過ごして頂け  
るよう努力致したいと思つておりま  
す。

【学校側からのアンケート】  
(1)自分の子供を白陵に入学させたいと  
思いますか。  
①はい(一四九) 二二%  
②いいえ(一三八) 二〇%  
③わからない(三九四) 五八%  
(2)前項で「いいえ」と答えられた方は  
具体的な理由を聞かせて下さい。  
(紙面の都合上、内容の似通つてい  
る回答は省略させて頂きました)  
●遠方に住んでいる為  
●子供が小さいので、将来の希望等  
がまだない  
●自分と同じ人生を歩ませたくない  
●学業成績や学歴で人を判断してし  
まうような教育をするから  
●これからの時代に要求される「遊  
び」「ゆとり」の精神が欠落する。  
●個性を無視した教育方法  
●非常に入学困難なエリート進学校  
であり、入れないであろう。  
●上からの管理が強すぎると自分で  
自分を律する力が育たないと思う。  
(3)進学校としての母校をどう思いま  
すか。  
①よい(四六五) 六九%  
②わるい(二六) 四%  
③わからない(一三七) 二〇%  
④その他(四八) 七%  
(「その他」で記入のあつた内容は  
(2)の回答と似通つた部分が大半  
でした)

(4)世間で白陵の知名度はありますか。  
①よく知られている(二〇八) 三一%  
②少し知られている(二七〇) 四〇%

(5)中学一〇五名、高校一七五名の少数  
定員制をどう思いますか。  
①このままでよい(五〇七) 七五%  
②もっと増やしてもよい  
(九五) 十四%  
③わからない(六四) 九%  
④その他(十三) 二%

(6)いまだに、中学・高校とも丸坊主で  
すが、これをどう思いますか。  
①今のままでよい(二三〇) 三四%  
②自由にした方がよい  
(三八〇) 五七%  
③わからない(六〇) 九%

※この項は、この回答結果を、そのま  
ま学校側に渡し、今後の学校  
運営並びに、生徒指導の参考にして  
頂きたいと思つています。尚、この後の  
記入欄にも、学校と同窓会に対する  
ご意見、ご希望等のご記入がござい  
ました。内容を十分理解し、合わせ  
て、今後の注意点とさせて頂きます。

最後になりましたが、このアンケ  
ートの回答に添えて、非常に多数の  
住所変更の通知がございました。こ  
れもこのアンケート実施にあつたつて  
の、大きなメリットであつたと考え  
ております。今後も母校並びに白陵  
会にご支援ご協力の程、よろしくお  
願い申し上げます。

## 白陵軍団全員集合!! その3



### 白陵柔道部OB会

白陵において柔道は体育の授業課目の一つであり、立派な武道館があり、また白陵生の誰もが一度は体験するという意味で、白陵の「校技」とも呼べるスポーツである。

柔道部もかつて兵庫県高校総合体体育大会において、個人戦三階級全制覇、団体戦準優勝の年を筆頭に数多くの大会に優勝し、兵庫県代表としてインターハイにも何人かの選手を送り出した実績を有している。近年は低迷が続いていたが、高橋一之先生（現在岡山白陵教諭、石井哲夫先生の地道な努力の甲斐あって、今年の高高校総体で久し振りに優勝者を出すなど白陵柔道復活の期待が膨らんでいる。

さて、その柔道OB会であるが、授業中は柔道部というだけで園長から目の敵にされ、放課後は藤田家将先生の非常に熱心な御指導を受け、心身共に大変充実した学園生活を過ごした柔道部OBの集まりも、現在、三回生から二四回生まで一七六名のメンバーを擁する白陵としては類をみない大きな集まりとなった。OBの勤務地が全国に散らばりまた大人数のこと故、全体的に活動しづらい面もあるが、毎年正月に行なわれる初稽古・親睦会には約三十〜四十名のOBが出席する。その時行なわれる現役柔道部員との紅白戦では、日頃着ることのない柔道着を身に付け、一回り程年の離れた若者と真剣に悪戦苦闘し、久々の激しいスポー

ツの爽快感を味わい（翌日には学生時代に味わうことのなかった筋肉痛までも味わうことが出来る）、また夜の親睦会では、かつて仏さまのように優しくしていたいた先輩方、キリストのように慈悲深く指導した後輩等、みんな一緒になって昔の上品なエピソード、互いの近況を肴にこれもまた上品に酒を飲み、二次会・三次会、夜が更けるまで時を惜しんで親交を深めている。

先輩、同輩、後輩との再会、親睦はとても楽しみであり、柔道部OB会の大きな目的の一つであるが、OB諸氏が正月の貴重な休暇に遠路はるばる白陵へ参集する最大の理由は、藤田先生にお会いし、先生の笑顔（試合の後で先生のこの笑顔を見ようときつい練習に耐えたOBも数多い）に接することにある。白陵卒業生の各世代によって藤田先生に対する印象は様々であるが、柔道部OBにとつて先生は無条件に恐く、また無条件に好きで、なくてはならない存在である。その先生の健康、活躍ぶりを目にし、現柔道部の近況を耳にし、苦しい時を共有した仲間と語り合う―柔道部OB会―一年一度の嬉しい時間である。

このOB会は毎年正月三日午後一時より道場で開かれますので、連絡等の不備はまだ出席されていない柔道部OBの方は是非来年から出席されるようお願い致します。

# 平成元年 大学入学試験合格者数調

東大15、京大26、早・慶・上智大32、国公立大医学部21

——兵庫県下第3位の実績——

国公立大学					
大学名		62年	63年	平成元年	
東京	大	15	22	15	
京都	大	28	23	26	
一橋	大	3	1	2	
大阪	大	10	20	19	
北海道	大	12	6	4	
東北	大	17	13	5	
東京外	大	1	1		
筑波	大	4		1	
名古屋	大	3		3	
九州	大	4	5	3	
神戸	大	22	23	18	
岡山	大	2	4	1	
広島	大	16	11	1	
防衛医	大	6	5	7	
大阪市	大	8	8	4	
その他		51	77	60	
合格者数		202	219	168	
(内医学部)		(27)	(39)	(21)	
対卒業生国公立大合格率		120%	126%	96%	

私立大学					
大学名		62年	63年	平成元年	
早稲田	大	12	11	16	
慶応	大	21	12	15	
上智	大	10	1	1	
中央	大	1	1	7	
東京理	大	7	4	6	
明治	大		2		
青山学院	大			2	
国際基督教	大	1	1		
関西学院	大	22	18	28	
関西	大	12	9	12	
同志社	大	13	10	6	
立命館	大	8	8	7	
大阪医	大	3	2	1	
関西医	大	2	3		
兵庫医	大	2	2	3	
大阪歯	大	1	1	1	
その他		21	15	26	
合格者数		136	100	131	
(内医学部)		(9)	(8)	(6)	

学部別合格者数											昭和63年度	平成元年度		
大学	学部	文	法	経	社	教	工	医	歯	農	合	国立大学計 (含準大学)	188(10)	150(14)
		学	学	商	会	育	理	学	薬	水	計			
国立大学計		5	8	23		8	68	10	6	9	136	国立大学計	31	19
(準大学)							7	7			14	私立大学計	100	131
公立大学計		1		5			7	4		2	19	合格者数総計	319	300
私立大学計		3	18	49	9	1	39	6	4	2	131	卒業生総数	174	177
合格者数計		9	26	76	9	9	121	27	10	13	300	対卒業生国公立大学 (除短期大学)合格率	125.9%	95.5%

## 《学校行事》

学校も2学期から行事が目白押しで益々活気づきます。久しぶりに新校舎見学がてら、学校へ立ち寄ってみませんか……。

月/日	行 事	月/日	行 事
11月5日	父兄対象入試説明会	2月3日	マラソン大会
11月9日	創立記念日	2月10日	卒業式
12月12日	期末考査(～12/16)	2月15日	高校入試
12月20日	終業式	3月1日	中学入試
12月21日	冬期補習(～12/28)	3月8日	学年末考査(～3/12)
平成2年1月5日	高3卒業試験(～1/8)	3月20日	終業式
1月8日	始業式		

# 白陵会ニュース

### ★白陵会総会 来年一月二一日開催

白陵高校同窓会総会が平成二年一月二一日に開催されること決定されました。沼田(三期)副会長はじめ、吉田(一〇期)、山戸(八期)、下村(一〇期)、志方(二期)、町田(一五期)、岡野(一七期)の各役員が総会準備委員会委員に選任されました。

### ★教員異動

昭和五十三年から勤務された川上浮先生(社会科・日本史)が退職されました。

### ★白陵柔道部県大会六〇キロ級優勝、 全国大会第三位

平成元年度全国高等学校総合体育大会柔道競技兵庫県大会六〇キロ級において、榎本茂樹君が二年ぶりに本校に優勝をもたらしました。また八六キロ級において木村博行君が三位に入賞しました。榎本君は、高知県で行われた全国大会、堂々第三位に入賞しました。

### ★生田和良氏北大教授就任

大阪大学微生物研究所部門でエイズウイルスを研究していた生田和良氏(四期生・三八歳)が、五月一日付で北海道大学免疫科学研究所教授に就任されました。本校卒業生で大学教授誕生ははじめて。

### ★校内整備推進中!

本部管理棟完成に伴い、周辺の整備が着々と進行しています。生徒の休憩所として三角公園付近に「吾妻屋」と「藤棚」を建設中。草木生い茂っていたところもすっきりとし、「庭園」を目ざして、益々校内環境が磨かれております。又、本部管理棟にあわせて、校舎の呼び名が、本館↓第1校舎、別館↓第2校舎、新館↓第3校舎と変更されました。

副会長	理事	會計理事	會計監査	書記	校内幹事
森川 昭	川上 浮	伊藤 加	藤村 藤	野田 吉	宮崎 久
黒川 昭	森川 昭	伊藤 加	藤村 藤	野田 吉	宮崎 久
川上 昭	森川 昭	伊藤 加	藤村 藤	野田 吉	宮崎 久
野田 昭	森川 昭	伊藤 加	藤村 藤	野田 吉	宮崎 久
野田 昭	森川 昭	伊藤 加	藤村 藤	野田 吉	宮崎 久
野田 昭	森川 昭	伊藤 加	藤村 藤	野田 吉	宮崎 久
野田 昭	森川 昭	伊藤 加	藤村 藤	野田 吉	宮崎 久
野田 昭	森川 昭	伊藤 加	藤村 藤	野田 吉	宮崎 久
野田 昭	森川 昭	伊藤 加	藤村 藤	野田 吉	宮崎 久
野田 昭	森川 昭	伊藤 加	藤村 藤	野田 吉	宮崎 久

## 白陵会収支計算書 昭和63年10月1日～平成元年3月31日 (単位円)

収 入		支 出	
科 目	金 額	科 目	金 額
会 費	2,655,000	会 議 費	574,854
受 取 利 息	319,746	慶 弔 費	2,280
名 簿 収 入	3,000	通 信 運 搬 費	59,865
		印 刷 費	635,920
		雑 費	26,550
前 期 繰 越	5,261,983	後 期 繰 越	6,940,260
合 計	8,239,729	合 計	8,239,729

### 編 集 後 記

今回はアンケート集計、管理棟完成と内容が多く、従来の枚数より四頁増え二面になりました。枚数はかなりふえ、読むところがないとお叱りを受けたいよう無い知恵を絞っております。今回の広報についてのアンケート結果を今後の企画編集の参考にさせて戴き、学校、同窓会会員の情報に溢れ、ユニークで面白く元気が出る、より良き同窓会誌にするために編集部一同頑張っていきたいと思っております。